

精神保健福祉

みやざき



宮崎県精神保健福祉連絡協議会

53

2013

表紙説明

「雲海」

(高千穂町企画観光課提供)

「青いＴシャツ」に込められた願い



この青いＴシャツ（愛称：青Ｔ）には、
人知れずいつもたった一人ぼっちで悩み続ける方に向けて、
隣にいる誰でもかまわないから 何時でもかまわないから 少しだけでもかまわないから
「ひとりで悩まないで 誰かに話してみませんか」
というメッセージが込められています。

二 つ の 変 化

宮崎県精神保健福祉連絡協議会
会 長 高 宮 眞 樹

さる6月13日に精神保健福祉法改正案が国会で可決成立しました。ご家族の皆様の長年の希望であった保護者制度の廃止をはじめ医療保護入院の期間設定を含めた早期からの退院（地域移行）への取り組み、精神医療審査会の機能の充実そして精神障害者の医療の提供を確保するための指針の策定の4本柱から成り立っております。平成26年4月からの施行（一部は平成28年4月から）とのことです。これによる精神科入院医療の変化に期待したいと思っています。一部には、「医療保護入院時に家族等（配偶者、親権者、扶養義務者、後見人又は保佐人）のうちいずれかの同意を要す」とのことから相変わらず家族に負担をかけることを懸念したり、反対に「おい、めいの承諾でたやすく精神科病院にいれられてしまい、相続・財産問題のからんだ事例も珍しくない」との極端な論評もありますが、「治療を受けさせ」、「利益を保護し」、「医師に協力し」、「医師の指示に従い」そして「措置解除又は仮退院する者を引き取る」及び第42条の「費用の立替払いをする」の中でも「受けさせること」と「引き取ること」が重い負担となり、保護者選任回避を判断されるご家族もいらしたことは仕方のないことだったかもしれません。そして平成5年改正で保護義務者が保護者と名称変更され、平成11年改正では自傷他害防止監督義務は削除されたものの保護者制度は存続し、平成18年改正時には議論すらなかったことからすれば大きな変化であり、しかも“入院時点における同意のみでよい”ことは更に負担感の軽減につながるものと思われます。ここに至るまでの精神福祉連合会の皆様の努力には敬意を表したいと思います。

次に、平成24年の宮崎県の自死者数は275人と15年振りに300人を下まわりました。全国的にみても15年振りに3万人を下まわり、人口10万人あたりの自死率24.5は全国で6番目に多いという評価はそれほど変わっておりませんが、平成19年の394人が20年364人、21年337人、22年307人、23年312人そして24年が275人と確実に減少していることはやはり大きな変化ととらえてよいでしょう。県下各地域の保健所の担当者をはじめとする行政関係者やNPO等の在野団体の皆様の地域モデルの地道な活動の継続の成果だと思います。今後はこの活動を継続していただきながら、医療、特に救急医療と精神科医療の連携や救急現場における自死企図者への支援のあり方の充実をはじめとする医療モデルの進展を図ることにより一層の自死者数の低下を目指すことが必要と思います。ところで“自殺”を“自死”と表現しておりますが、既に鳥根県では公式的にも“自死”にしております。小生が医療事故担当常務理事を務めております公益社団法人日本精神科病院協会でも、4月5日に“他殺”の反対語として反社会的行為であるというニュアンスを伴う“自殺”表記を改め“自死”を含めた別の呼称へ変えてゆくこと”を内閣府及び厚生労働省に要望しております。本県でも自殺呼称見直しについての議論がすすむことを希望いたします。

さて、第3の変化ではありませんが、三山吉夫先生の後任として今年の4月より本協議会の会長に就任しました。昭和53年に慶応義塾大学を卒業後、慶応義塾大学付属病院及び精神医学研究所付属東京武蔵野病院で主に抗精神病薬の副作用を中心に精神科医としての研鑽を積み、学位取得後は宮崎市の高宮病院に勤務しております。宮崎市郡の介護保険認定委員を10年間勤め、その後障害者総合支援法に係る障害支援区分認定委員を務めてきました。昨年暮れに還暦を迎え精神科医となって35年経っておりますが、これまでの本協議会の会長を勤められた井上万義先生、高宮澄男先生そして三山吉夫先生方の様に精神保健福祉についての豊かな見識を備えておりますので、皆様方の御指導・御支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

目 次

巻 頭 言 二つの変化

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会 長 高 宮 眞 樹……………	1
---------------------------------	---

第60回精神保健福祉全国大会（平成24年度開催）

大会テーマ 『こころを支える～災害時の心のケアと地域の絆～』……………	4
-------------------------------------	---

精神保健福祉事業功労者（平成24年度）

宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰（個人4名、1団体）……………	8
-----------------------------------	---

表彰受賞者の声（平成24年度）

宮崎県精神福祉連合会理事長	立 本 久 子（宮崎市）……………	10
精神保健ボランティア	山 下 チエ子（串間市）……………	11
三股町さつき家族会会長	栞 畑 貴 志（三股町）……………	12
宮崎県断酒友の会日向支部長	鈴 木 武（日向市）……………	13
ボランティアグループ	小林市こころの健康サポーター（小林市）……………	14

第12回宮崎県障がい者スポーツ大会の結果について…………… 15

第12回宮崎県障がい者スポーツ大会に参加して

医療法人慈光会宮崎若久病院……………	16
内村病院精神科デイケア「たんぽぽ館」……………	17
西都病院デイケア「つきどん」メンバー一同……………	18
医療法人建悠会吉田病院精神科デイケア……………	19
高千穂町保健福祉総合センター「げんき荘」デイケア……………	20

各地域精神保健福祉協議会の動き

宮崎地域精神保健福祉協議会……………	21
日南串間地域精神保健福祉協議会……………	22
都城北諸地域精神保健福祉協議会……………	23
西諸地域精神保健福祉協議会……………	24
西都児湯地域精神保健福祉協議会……………	25
日向入郷地域精神保健福祉協議会……………	26
延岡地域精神保健福祉協議会……………	27
西臼杵地域精神保健福祉協議会……………	28

精神障がい者支援組織・グループの動き

特定非営利活動法人宮崎県精神福祉連合会	29
宮崎県断酒友の会	30
ルピナス倶楽部	31

地域で活動する自助活動グループ等の紹介

こんにちは 地域活動支援センター 和みです	
地域活動支援センター 和み	32
ピアサポーター院内訪問活動を体験して	
ピアサポーター さくらの会	33

障がい者の就労促進等に取り組む事業所

社会福祉法人 あじさいの里	
障がい福祉サービス事業所あじさいの里（就労継続支援B型事業所）	34
就労移行支援事業所 ぐらんま亭	35
特定非営利活動法人ふれあい	
キャッチボール（就労継続支援B型事業所）	36

宮崎県精神保健福祉連絡協議会だより

平成24年度事業実績	37
平成25年度事業計画	39
宮崎県精神保健福祉連絡協議会 役員名簿	40
宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会員名簿	41

第60回 精神保健福祉全国大会

大会テーマ「こころを支える～災害時の心のケアと地域の絆～」

平成24年10月26日（金） 宮崎市民文化ホール

【大会趣旨】

東日本大震災においては、困難な状況の中、物心両面でお互いを支え合い、また、多くのボランティア等が様々な支援を行うなど、災害時の支え合いの重要性が再確認されたところです。

このような中、家庭や職場、地域における支え合いは、災害時はもとより、私たちの日常の暮らしの中で「心の健康」を維持するために重要な役割を果たすものと期待されますが、現実には、人と人とのつながりは希薄化しており、うつ病や、自殺者の増加、アルコール依存症など精神保健福祉に関する問題は増大しており、その対策が急務となっています。

今大会では、「こころを支える～災害時の心のケアと地域の絆～」をテーマに、災害時の「心の健康」を維持するために必要な支え合いとは何か、また、日常の暮らしの中で「地域の絆」が果たす役割とは何かを共に考えることにより、精神保健福祉に関する正しい知識の普及と新たな精神保健福祉施策の推進を目指します。

【主催】

厚生労働省、（公社）日本精神保健福祉連盟

【共催】

宮崎県、宮崎市、宮崎県精神保健福祉連絡協議会、（社）宮崎県精神科病院協会



プログラム

1 記念式典（10：00～11：00）

前回開催県	（福井県）からの引継ぎ	「心をひらく鍵」の引渡し
開会の言葉	宮崎県大会実行委員長	三山 吉夫
式 辞	（公社）日本精神保健福祉連盟会長	保崎 秀夫
あいさつ	厚生労働大臣	三井 辨雄
	宮崎県知事	河野 俊嗣
	宮崎市長	戸敷 正
表 彰	<精神保健福祉事業功労者表彰>	
	厚生労働大臣表彰	
	（公社）日本精神保健福祉連盟会長表彰	
	宮崎県知事表彰	
	宮崎県精神保健福祉連絡協議会長表彰	
	（社）宮崎県精神科病院協会会長表彰	
謝 辞	受賞者代表	富田精一郎
祝 辞	宮崎県議会議長	外山 三博
次回開催県挨拶	青森県保健福祉部長	馬場 忠彦

2 アトラクション（11：10～11：55）

- 子ども白太鼓踊 妻保育園 園児
- ピアノソロ演奏 野田あすか
- 合唱 地域生活支援センター「すみよし」

3 記念講演（13：00～14：00）

テーマ 「生きながら生まれ変わる」 講演者 歌手 米良 美一

4 シンポジウム（14：10～15：55）

テーマ 「こころを支える～災害時の心のケアと地域の絆～」

・座 長	宮崎大学医学部教授	石田 康
・シンポジスト		
岩手県釜石市健康推進課 保健師		洞口 祐子
宮崎大学医学部附属病院 精神科医		武田龍一郎
医療法人同心会古賀総合病院 精神保健福祉士		押川 奉史
宮崎県中央福祉こどもセンター 保健師		松尾 祐子
NPO 法人みんなのくらしターミナル 代表理事		初鹿野 聡

5 閉会の言葉（15：55～16：00）

大会実行委員会委員 後藤 勇

～表彰＜精神保健福祉事業功労者表彰＞～

厚生労働大臣表彰受賞者

個人 53名

厚生労働大臣受賞者

団体 11団体

公益社団法人日本精神保健福祉連盟会長表彰受賞者

個人 48名

団体 6団体

宮崎県知事表彰受賞者

10名

宮崎県精神保健福祉連絡協議会長表彰受賞者

5名

宮崎県精神科病院協会会長表彰受賞者

11名

以上、多くの方が受賞されました。



～アトラクション～

子ども臼太鼓踊（妻保育園ひまわり組）



ピアノソロ演奏（野田あすか）



合唱（地域生活支援センターすみよし「ほっぷ♪はにわ」



～記念講演～

講演者 米良 美一

先天性骨形成不全症という難病と闘いながら経験し、学んできたことをお話していただきました。また、素晴らしい歌声も披露していただきました。



～シンポジウム～

災害支援の在り方について、シンポジストの方々がそれぞれの立場から意見を述べられました。



多くの方に御来場いただきました。ありがとうございました。

宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰

氏 名	住 所	所 属 職 種	功 績 概 要
立本 久子	宮 崎 市	特定非営利 活動法人 宮崎県精神福 祉連合会 理事長	平成9年より古賀総合病院家族会会長に就任し、精神障がい者家族への相談や支援を継続している。 平成14年からは宮崎県精神福祉連合会の副会長、平成21年からは理事長に就任し、「宮崎県障がい者雇用促進協議会」や「宮崎県精神保健福祉連絡協議会」等多数の会議に宮崎県精神福祉連合会代表として出席し、常に障がい者・家族の立場から精神福祉の向上に尽力してきた。 ほとんど日中の自分の時間は相談活動に費やし、家族交流事業及び地域移行事業等を実施する等、宮崎県内の精神障がい者及びその家族の福祉の増進に寄与した功績は大きい。
山下チエ子	串 間 市	精神保健 ボランティア	平成7年から保健所の精神障がい者デイケアにおいて、和紙工芸の講師として指導に当たり、福祉関連のイベントにおいて障がい者が作成した和紙工芸品を展示販売するなど、地域とのつながりの中で精神障がい者が生きがいのある生活を送れるよう支援している。 また、平成21年4月からは地域生活支援センターWingの活動プログラムの中で和紙工芸を毎月指導し、自主性を重んじた支援を行うとともに、平成22年度から串間市精神障がい者家族会（よつば会）賛助会員となり、今まで以上に家族や当事者に寄り添った支援を行うなど、その功績は顕著で、後に続く者の模範となるものである。
榎畑 貴志	三 股 町	さつき家族会 会長	平成10年よりさつき家族会の活動を開始。平成14年にさつき家族会会長に就任し、講演会や交流会の開催、地域の祭りへ参加される等、家族会として積極的な活動を行っている。 平成14年からはさつき作業所の施設長に就任し、障がい者の就労支援にも取り組んでいる。これまで精神障がい者のみならず、知的障がい、身体障がいをもつ方の自立と社会参加の促進に尽力されており、関係機関からの人望も厚く、地域での精神保健福祉に対する理解の普及・啓発に貢献した功績は大きい。

氏 名	住 所	所 属 職 種	功 績 概 要
鈴木 武	日向市	宮崎県断酒友の会 日向支部長	平成15年に宮崎県断酒友の会に入会し、日向支部長として月2回の例会開催と合わせて、延岡支部の例会にも参加している。 平成18年からは、酒害に悩む家族の相談の場の必要性を痛感し、月2回の家族教室を開設し、現在は家族同士で悩みを語り合う場として定着し、その利用者は児湯地区や延岡地区にも広がっている。 また、随時、電話での相談を受け付けており、地域の精神科病院や福祉事務所の担当者からの信頼も厚く、アルコール問題で苦しむ当事者、その家族が一人でも少なくなるように、自ら関係機関に足を運び、断酒友の会の活動紹介を行うなど、管内のアルコール依存症者の発掘にも努めている。 現在も、県内外の研修等に積極的に参加し、例会の内容充実や会員相互の親睦を深めるための活動を行っており、温和な性格は会員から信頼されており、その活動は後に続く者の模範となるものである。
小林市こころの健康サポーター	小林市	ボランティアグループ	全国で自殺死亡者が連続して3万人を超えている状況にある中、宮崎県は自殺死亡率が上位で、特に西諸地域は自殺死亡率が高い状況にある。 そのような中、平成20年8月に開催された「こころの健康推進員」養成の基礎研修会修了者が、小林市こころの健康サポーターとして養成の目的にあった自殺の予防対策の普及啓発活動に積極的に取り組んでいる。 街頭キャンペーン、傾聴活動等、自主活動の幅も広がり、地域住民への声かけ、見守り等積極的に活動され、地域のこころの健康づくりに貢献している。

表彰受賞者の声

特定非営利活動法人 宮崎県精神福祉連合会

理事長 立本 久子

このたび、第60回精神保健福祉全国大会「宮崎大会」開催で宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を受けることになり、有り難く頂くことにしました。

振り返ってみますと、十数年前病院家族会の会員となり、熱心なケースワーカーの方の助けをもらいながら家族の皆さんで活動を進め、月日を重ねて参りました。

そして、その頃から県の家族会にも参加し、家族会の皆さんの仲間として活動するようになりまして今日まで早くも十数年という月日が流れて来ました。

この間、仲間の皆さんや当事者の方が亡くなったり、また、家族の病気などで身動きが取れなくなったり、次から次へと時代が変わって参りました。これも現実として受け止めていかねばなりません。

また、病院に出入りを始めた頃を思い出しますと、「20歳代に入院して90歳まで病院で生活され最後となった人」や「中学生で発病し50歳になりました」といった人もいた時代でした。考えるだけでもため息の出る、閉ざされた暗い時代だったと思います。

しかし、だんだんと歴史が変わって参りました。精神障がい者を取り巻く環境も変化し、十数年前と比較しますと格段に恵まれてきて、明るい雰囲気でも生活できるようになり、ホッとする時代に近づいたと思っております。

まだまだ、病気の難しさ、偏見や差別意識など沢山の課題は山積していますが、一日一日良い医学が進み差別や偏見のない社会になることを願いたいものです。

どうか当事者の皆さんの為に、行政、病院、家族そして地域の皆さんが一体となって前に進んで行こうではありませんか。

私達、宮崎県精神福祉連合会の会員も役員も高齢化を迎えており、微力ではありますが、皆さんと共に精神障がい者の方が、安心して就職し、地域での生活が出来る様に、地位向上のために運動を進めて参りたいと思っております。これからも、もっともっと希望の見える日が来ますよう、行動し見守っていきたいと考えているところです。



精神保健ボランティア 山下 チエ子（串間市）

この度 宮崎県精神保健連絡協議会会長の表彰をいただきました。私のようなものがと本当に恐縮致して居ります。

長年勤めた病院を退職して間もなく、串間保健所のデイケアのお手伝いをしてほしいと声がかかりました。「何か人のためにお役に立つことがあれば是非参加したい。」と思って居りましたので、喜んで参加したことが精神保健ボランティアのきっかけとなりました。

当時私は趣味で紙工芸にはまり、銀行、病院、福祉施設などで作品展を致して居りました。

これをご覧になられた地域生活支援センター Wing から声がかかり紙工作を中心とした指導をすることになりました。最初、自助グループ（芽立ちの会）やご家族との出会いがきっかけで、日南串間地域精神保健福祉協議会の賛助会の入会もさせていただきました。

利用者の方は誰もが真剣に取り組まれ、その中にも、おだやかな雰囲気笑顔がありました。初めはお母様と一緒に参加されていた利用者也、だんだん馴れて一人で参加されるようになりました。地域の交流会での紙工作を通して、みんなで会話する楽しさ、又、自分で作品を作って、使う楽しさが参加された方の楽しい思い出になったのではないのでしょうか。今でもお見かけしますと大きな声で話しかけて下さり、お互いにはげみになり嬉しく思う次第です。

今回の受賞に対しては地域生活支援センター Wing 長様、職員の皆様の御協力があったからだ と深く感謝して居ります。

受賞を機に新たな気持ちで体の許すかぎり支援させていただきます。ありがとうございました。



「皆様に支えられて」

三股町さつき家族会 会長 桒畑 貴志（三股町）

この度は第60回宮崎県精神保健福祉大会に於いて、連絡協議会会長表彰をいただき誠にありがとうございます。

私と家族会活動との出会いは16年前から年に数回ではありますが、叔母が入院している新富町の県立富養園への面会及び病棟家族会へ祖母を車で送迎する様になった事がきっかけであります。当時の私はまだ若かったというのはい訳になるかもしれませんが、身内に病気で思い悩んでいる人がいながら、全く他人ごとでありました。その後、少しずつではありますが、統合失調症とはどんな病気か、家族会活動とはどういう事を分かりかけてきました。その矢先、わずか3年の間に父と祖母が死去しました。どうすればいいかわからないまま私は27歳の時にさつき家族会会長に就任させていただきました。当時、何の知識、経験、人脈もない私を力強く支えて下さったのは、家族会の会員の皆様、病院・行政関係の職員の皆様、そして地域の皆様です。皆様方の支え無くして現在の家族会、そして私自身はございません。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

現在のさつき家族会の活動は主に普及啓発、地域社会への貢献、他の障がい者団体との交流活動に取り組んでおります。その中で、特に就労支援や相談支援の重要性を感じております。すべての活動に通じることではありますが、当事者、家族の立場になり正面から真剣に向き合い、話し合い、分かち合う事からスタートではないかと考えます。

まだまだ経験、知識共に未熟な私ではありますが、今回の表彰を励みに、皆様のご指導もいただきながら、少しでも地域社会のお役に立てるよう精進していきたいと思っております。

この度の表彰誠にありがとうございました。



宮崎県断酒友の会

断酒友の会日向支部 鈴木 武（日向市）

この度は、協議会会長表彰を受賞させていただき、感謝申し上げます。

私は、平成15年にアルコール専門病院（精神科）に入院しました。精神科病院入院は2度目です。2度目の入院で初めて依存症ですと言われました。院内例会への誘いが度々あったのですが、退院するまでに3ヶ月入院したにもかかわらず、参加しませんでした。退院直前に院長より1回は例会に参加しなさいと言われ、参加させていただきました。退院時、看護師長が家内に言ったそうです。「1ヶ月後、必ず病院に来てください。それまで、アルコールを飲ませないでください。」との指導があったようでした。早速、退院後日向支部例会に夫婦で参加させていただきました。当時の日向支部は会員はいないのに、現在の宮崎県断酒友の会米崎理事長を中心に、数名で日向支部例会を10年あまり開催していたそうです。私が日向支部1人目の会員となりました。例会は月1回でした。現在では、各支部の協力のおかげで月4回の例会が開催されるようになっております。

現在、日向支部の例会だけでなく、県内の各支部の例会を回り、県外の例会や一泊研修にも参加させていただきました。多くの仲間との出会いができ、今日まで断酒できています。

今回の受賞につきましては、皆さんのおかげです。本当にお世話になりました。今後も日向支部のご支援をよろしくお願いいたします。

これからも私達は、酒害に悩む人達に断酒の喜びを例会を通じて伝えていく活動をしていきます。



「こころの健康サポーター活動について」

小林市こころの健康サポーター

平成24年10月26日 宮崎市民文化ホールで開催された第60回精神保健福祉全国大会で、県精神保健福祉連絡協議会長表彰をいただき誠にありがとうございました。

宮崎県内、特に西諸地域は自殺率が高い状況の中、傾聴の基礎研修会修了者が、地区組織活動として自殺予防対策の普及啓発に積極的に取り組んでいます。

平成21年2月、旧野尻町で自殺予防対策の一環である「こころの健康推進員」として18名で活動を開始しました。高齢者のひきこもり予防として地域で行なわれている高齢者いきいきサロンで高齢者自殺予防の紙芝居や絵本の読みきかせ活動を行なってきました。

平成22年度の合併後は、名称を「こころの健康サポーター」と変え、継続して地域の高齢者のうつ予防対策を行なっています。さらに、自殺予防週間で街頭キャンペーンに参加し普及啓発活動も行っています。

また、平成23年度からはNPO法人こばやしハートムが行なっている「茶のん場スマイル館」で週1回傾聴活動を実施しています。毎年の基礎研修会修了者が追加登録され、現在48名が活動しています。

年に2～3回の追加研修をうけ、スキルアップに励んでいます。この活動を通して、傾聴の楽しさ、難しさ、人は人によって傷つき人によって癒されることを学びました。これからも、小林市の自殺者がひとりでも減るよう活動を続けていきたいと思えます。



平成25年4月25日の追加研修での集合写真

第12回宮崎県障がい者スポーツ大会の結果について

日 時：平成25年 5 月12日（日）
場 所：宮崎県総合運動公園
宮崎エースレーン（ボウリング）

参加選手

選手	1, 6 5 3 人
役員	2 7 4 人
ボランティア	3 0 0 人
警察音楽隊	3 0 人
	2, 2 5 7 人



開会式の様子

選手のうち精神障がい者

バレーボール	2 チーム	1 6 人
ミニバレーボール	1 3 チーム	1 1 2 人
グラウンド・ゴルフ	3 7 チーム	2 4 6 人
		3 7 4 人

バレーボール	優 勝	江南よしみフェニックス	(宮崎市)
	第2位	江南よしみにこにこチーム	(宮崎市)
ミニバレーボール	優 勝	1 パート 若草クリニック	(宮崎市)
		2 パート 若草upp	(宮崎市)
		3 パート チームビクトリー	(日南市)
		4 パート 虹の丘	(宮崎市)
グラウンド・ゴルフ	優 勝	A コース 虹の丘A	(宮崎市)
		B コース サメシマ	(日向市)
		C コース 「つきどん」	(西都市)

《第13回全国障害者スポーツ大会 バレーボール競技 九州ブロック地区予選について》

日時：平成25年 4 月27日（土）
場所：鹿児島アリーナ（鹿児島市）

出場チーム： 第11回宮崎県障がい者スポーツ大会バレーボール競技で優勝した江南よしみフェニックスチームが出場した。九州ブロック大会で優勝した場合、全国大会（スポーツ祭東京2013）への出場権を獲得することになる。

本県は1回戦で熊本市と対戦し、見事初戦突破をしたが、2回戦で優勝経験がある佐賀県代表と戦い、惜しくも敗れた。

※ 第12回宮崎県障がい者スポーツ大会で優勝した江南よしみフェニックスは、来年度開催の九州ブロック予選出場の権利を獲得した。来年度の全国大会は長崎県で開催予定。

第12回 宮崎県障がい者スポーツ大会に参加して

医療法人慈光会 宮崎若久病院

平成25年5月12日に開催された障がい者スポーツ大会で、グラウンドゴルフの部に参加しました。

デイケアプログラムの中でもグラウンドゴルフは人気が高く、いつもたくさんのメンバーで練習しています。他施設の方々と交流できるスポーツ大会をメンバーも毎年楽しみにしており、今年は『楽しむことを第一に結果は後からついてくる』をスローガンとしました。その結果、第3位という好成績を残すことが出来ました。

楽しんでプレーすることでメンバー同士の交流も深まり、思い出に残る大会になったと感じています。来年の大会に向けて、また楽しみながら練習していきたいと思います。



平成25年5月12日宮崎県障がい者スポーツ大会が開催されました。

内村病院デイケアたんぽぽ館からは、ミニバレーとグラウンドゴルフに出場しました。期待と不安の中で出場し、練習のかいあってミニバレー、グラウンドゴルフ共に上位入賞して記念の盾を持ち帰ることができました。(M. Y)

出場選手の声を紹介します。

初めてこの大会に参加しました。行きの車の中ではドキドキしながら会場に着きました。すぐに試合に入って思うようにプレーできず、試合には負けて悔しい思いがつのりました。今後の課題として、たくさん練習して、来年は勝てるように頑張ります。(M. S)



緊張して、普段通りにできなかった。
前夜は、アタックを打つイメージを考えていたらよく眠れなかった。(O. S)

私は、グラウンドゴルフに出場しました。いまひとつ力を発揮できませんでしたが、チーム全体ではホールインワンが三回も出るという快挙で3位になりました。(M. Y)

会場の勝手が違って普段の力が出せなかった。力が入りすぎてオーバーが多かった。(M. M)

難しかったですね。距離感がつかみにくかったです。まぐれでホールインワンが出せました。うれしかったです。(M. T)



思ったほど活躍できなかったです。
もっと上手に出来るつもりだったけど、本番は波に乗れなかった。(Y. K)

☆西都病院デイケア「つきどん」 メンバー一同☆

今年もこの季節がやってきました。 そう！宮崎県障がい者スポーツ大会です。

デイケア「つきどん」では、第5回大会から出場して、今年で8年連続の出場になります。

いずれも、グランドゴルフの部門に出場しております。

心配された雨もやみ、天気同様に心も晴れ晴れと木の花ドームへと向かいました。

8年連続で出場するメンバーもいれば、今年初めて出場するメンバーもいましたが、普段のデイケアプログラムの練習やチームワークのもと、見事に「つきどん」チームが優勝を飾ることができました。 何と！8年連続の優勝です！！

帰りのバスの中では、喜びと心地よい疲れの中帰ることが出来ました。

これからも、競い合い楽しみながら健康のためにグランドゴルフを続けていきたいと思います。

参加出場したメンバーさんの感想・コメントは・・・

「勝てて良かったです。」

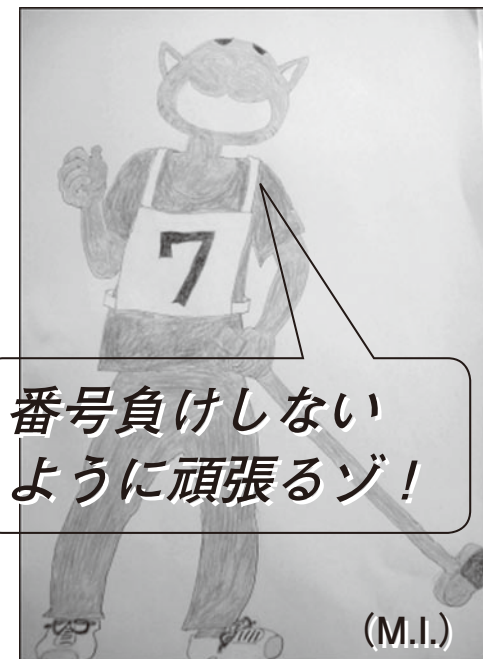
「足を引っ張ったけど・・・勝ててよかった。」

「優勝できて嬉しい。また来年も頑張りたい。」

「良かったの一言」

「午後からのプレーが良かったです。」

「初めてとりました。よろしくね。」



応援者からのメッセージ「スポーツ大会を通して・・・」
楽しいレクリエーション。

みんなの努力が実った優勝です！！

これからも、汗を流してがんばりましょう。

そして、またこれからも、いつでも、西都の風土を持ち
続けましょう。

「ボーイス アンビシャス ライク ディス オールドマン」

「少年よ 大志を抱け そして 老いた人に負けず 頑張ろう！」(山ちゃん)

グラウンドゴルフが
大好きな「パチスロ
成金ネコバンク」

☆西都病院チーム☆

春でも日差しの強い宮崎県！！みんな大会に向けて暑さに負けず練習してきました。当日は心地よい風が入り込むドームで、程良い緊張感の中試合が行われました。西都病院チームはチーム構成ギリギリの5名で参加しました。そのため午前・午後ともメンバー変更無しで頑張りました。そして結果は準優勝！！ケガなく無事に終わり、さらに素晴らしい結果を収め今までの練習の成果を発揮することができました。

昨年の大会より順位を上げる事ができ、参加された方達からは笑顔が溢れていました。

次回の大会に向け、今後も楽しみながら練習をしていきたいと思います。

～参加された方からの感想～

「ホールインワンが出てラッキーでした。」

「準優勝できて嬉しかった。」

「全員がまとまっていて成績も良かった。」

「楽しかった。来年は優勝を目指します。」

「悔しさの残る試合だった。来年も頑張ります。」



宮崎県障がい者スポーツ大会に参加して

～メンバーの方からのコメント～

医療法人 建悠会 吉田病院 精神科デイケア

○宮崎県障がい者スポーツ大会ミニバレー優勝できました。

日常ミニバレーにあまり参加していなかった人も最少人員でケガもなく、優勝し、笑顔で喜んだ事がとても印象に残りました。(K・Y)

○5月の12日に車で宮崎の武道館に行ってミニバレーの大会がありました。

みんなでチームワークが取れ、とても疲れたけど何とか1位になりとても嬉しくなり、帰りはルンルン気分楽しく帰りました。

また来年もチームワークが取れたチームとなり、楽しい思い出を作りたいと思います。また、よろしくお願いします。(M・H)

○順調に勝ち抜いたので良かったです。(G・K)

○世の中平和だ、ガッツ、また会う日まで(H・K)

○相手のサーブが強くて、取るのが難しかったです。優勝は努力しないと取れないものだと思うので嬉しいです。来年もまた試合に出られたら嬉しく思います。(I・N)

○頑張りました。嬉しかったです。(参加者より)



宮崎県障がい者スポーツ大会に参加して

高千穂町保健福祉総合センター げんき荘 デイケア

高千穂町は、日之影町と組んで西臼杵合同チームとして参加しています。

合同練習は年1～2回と少ないにも関わらず、今年は2位という好成績を残すことができました。チームワークが良いお陰ではないかと思います。

個人でも3名の方がホールインワンを出し、その内1名は、なんと2回もホールインワンを出すことができました！

グラウンドゴルフはルールも簡単で初心者の方も参加しやすいスポーツなので、これからも毎年一緒に楽しんで参加していきたいと思います。

あまり練習もしていない中、それなりに本番で頑張り、2位を取ることができ良かったです。

新メンバーの2人も頑張っていて、ホールインワンが4回も出て良かったです。
(Y・T)

今年は2位でした！

初参加のグラウンドゴルフ大会だったので、緊張しました。前半はホールインワンも出て調子が良かったのですが、後半は案の定たくさんたたいてしまい、スコアががた落ちしたので、来年ももし参加する場合は、今年以上に良い成績を残したいです。
(H・Y)



今年は2位でした！
みんな頑張ったので、運が良かったのだと思います。
(A・K)

結果は2位でした☆

宮崎地域精神保健福祉協議会

当協議会は、宮崎市及び東諸県郡における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

【こころの健康づくり講演会】

日 時：平成25年3月13日（水）
場 所：宮崎県総合保健センター 大研修室
参加者：約50名
内 容：講演「弁護士と取り組むこころの健康
～困った人に気づいたらすぐ相談～」
講師 弁護士法人ひむか法律事務所
弁護士 塩 地 陽 介 氏



障がいのある方や家族の皆様、関心のある方、支援者の方々が参加されました。

日頃聞くことのできない弁護士の方のお話で多重債務や悪質商法などについて原因・解決方法など分かりやすく教えていただきました。金銭的問題を抱えている人に気づくポイントを知り、困っている人に気づいたらすぐ相談することの大切さを感じました。

参加者からは、相談できる場を知ることができ、また弁護士会の活動を身近に感じたとの声がきかれました。講師は、今後は弁護士と精神保健福祉分野の連携により積極的に心の健康に取り組むことを強調され締めくくられました。

【施設外活動費助成事業】

平成23年度から精神科病院・診療所と精神障がい者福祉関係施設の施設外活動を支援する「施設外活動費助成事業」を開始しています。申請のあった活動の内容としては、果物狩りやボーリング大会等がありました。一部をご紹介します。

宮崎地域精神保健福祉協議会からの助成金を受けて、平成25年2月15日にジョイプラザ宮崎店で昨年に続き2回目となる野崎病院院内ボーリング大会が開催されました。精神科デイケア「虹の丘」の利用者と入院患者の交流を深めるため、虹の丘と病棟が合同で企画し、今回も多くの方が参加しました。当日は虹の丘から4チーム、病棟から7チームが出場し、応援団も含めて50名程の参加となり、賑やかなボーリング大会となりました。初めのうちは緊張した面持ちの方もいましたが、ゲームが進むにつれて自然と笑顔も多くなり、利用者、入院患者、そしてスタッフとの交流も活発に見られました。普段はあまり自分から話することがない方も、ボーリングを行う中でチームのメンバーと喜び合う様子が見られるなど、普段とはまた違った一面を見ることができました。今回の院内ボーリング大会は、利用者と入院患者が楽しみや喜びを共有できる大変良い機会となりました。御支援、御協力ありがとうございました。



野崎病院 精神科デイケア「虹の丘」 作業療法士 徳永真名美

【協議会だより「ゆとり」の発行】

精神保健福祉に関する情報提供と協議会の活動を中心に編集した、宮崎地域精神保健福祉協議会だより『ゆとり』第17号を発行しました。

日南串間地域精神保健福祉協議会

当協議会は日南市、串間市内の20の関係機関ならびに団体で構成されています。地域における精神保健福祉に関する知識の普及・啓発のための講演会や研修会及び会報「潮騒」の発行等の事業を行っています。

【自殺ゼロプロジェクト推進事業（自殺予防研修）】

『自殺の背景にあるうつを知ろう』

開催日：平成24年11月22日（木）

場 所：日南保健所 多目的室

内 容：

- 講演1 「うつと自殺の関係について
－うつ病と自殺－」

講師 宮崎大学医学部臨床神経科学講座
精神医学分野教授 石田 康 氏



- 講演2 「自殺のサインとその対応について
－大切な人を失わないために－」

講師 NPO 法人国際ビブレンダーズ宮崎
自殺防止センター所長 工藤 智徳 氏



参加者：49名

- ・地域の相談機関や介護保険事業所職員だけではなく、地域職域の多分野の関係者に参加いただき、うつ病の正しい知識と対応、自殺のサインと基本的な対応について啓発を行った。

【障がい者地域移行促進強化事業（基礎研修）】



開催日：平成25年1月14日（月）

場 所：地域活動支援センター 和み

内 容：

- 講演「精神科の治療と養生」

講師 医療法人十善会 けんなん病院
臨床心理士 辻 翔太 氏

参加者：22名

- ・当事者の問題解決能力を育むこと。必要な時に支えること。家族以外の支援を利用することの重要性を患者本人や家族、周囲の方の対応についてわかりやすく説明していただきました。

【協議会だより（潮騒）の発行】

精神保健福祉に関する情報提供及び、協議会活動を中心に編集し、平成25年3月に日南串間地域精神保健福祉協議会だより「潮騒第21号」を発行しました。

都城北諸地域精神保健福祉協議会

当協議会は都城市、三股町における精神保健福祉の推進を図ることを目的に活動しています。主な活動としては、家族会等への活動助成や精神障がい者支援ネットワークを結成し、講演会や普及啓発イベントの企画、協議会だよりの発行を行っています。

【こころの健康づくり講演会】

日 時：平成25年2月23日（土）

14：00～15：30

場 所：都城保健所 多目的室

参加者：75名

（病院関係者、民生委員児童委員、一般の方等）

内 容：講演 「共有・共助・協力から生まれる絆づくり」

講師 都城市松之元自治公民館館長

楠牟禮 哲也 氏



（～講演会の様子～）

地域の住民が安心して生活できる地域づくりに積極的に取り組んでおられる楠牟禮氏から、地域の絆を再構築していくための取り組みの一つとして、認知症への取り組みについてお話がありました。徘徊者保護の訓練を行ったことで課題が見つかり、今後は連絡体制の整備や認知症患者の把握方法についての課題に取り組みたいとのことでした。

【家族会等への活動助成】

家族会や断酒会への活動助成を継続しています。家族会からは、交流会や勉強会、委員会等の活動実績の報告をいただいております。



（～勉強会及び料理教室の様子～ 写真提供：都城地域太陽家族会）

【協議会だよりの「オアシス」の発行】

平成25年1月に協議会だよりの「オアシス」を発行しました。

精神保健福祉大会の様子や平成24年11月に開催された「災害時や緊急時の心のケア～命を守るために～」の講演会の様子等について紹介しています。

西諸地域精神保健福祉協議会

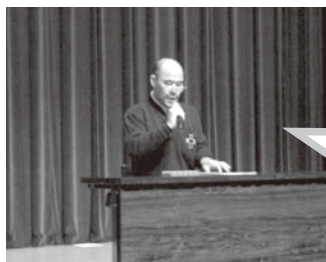
西諸地域精神保健福祉協議会では、小林市、えびの市、高原町における精神障がい者の福祉の増進と地域における精神保健の向上を図ることを目的に活動しております。

【こすもす祭】

精神障がいへの理解を深めていただくことを目的に、平成24年11月7日に小林市文化会館において、文化交流会（通称：こすもす祭）を開催しました。当事者や家族、ボランティア、地域住民の方々など約260名の参加がありました。精神障がい者ご本人の日ごろの想いやこれからの目標を「私達の声」と題して発表していただきました。参加された方々からは、「障がいを抱えながら頑張っている姿がわかり、感動しました」「勇気づけられました」「良い経験になりました」など多くの感想をいただきました。

～ ステージの部 ～

体験発表



◎えびの市当事者の会ふら～っとの皆様：えびの市民図書館の来館者にコーヒーサービスを行っています。

お客さんたち市民の方に自分たちのことをわかってもらって、楽しく頑張ることができてうれしいです。作業所で仕事をすることで、少しずつ元気になりました。

◎グループホームに入居して「菜の花堂」作業所やディケアに通所されている方です。

グループホームのメンバーは、良い人ばかりです。

作業所に行くことは自分にとっては素晴らしいことになります。

人は本当に一人では頑張れないし、周りから支えられているから僕はこうして作業所に行けることをとても感謝していて、その気持ちでいっぱいです。一人暮らしの自立ができることも目標に毎日努力していこうと思っています。



小洲明流洲春会の皆様



小林女声コーラスの皆様

やさしい調べに
包まれて心が
いやされました。

当事者の方々や地域のボランティアの方々が一緒になって、参加者の方々と小物作りをしたりコーヒーサービスを行いました。

～ 交流の部 ～



喫茶コーナー



小物作りコーナー



レクリエーションコーナー

西都児湯地域精神保健福祉協議会

西都児湯地域精神保健福祉協議会では、西都市、高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的として講演会、レクリエーション交流会など様々な事業を行っています。

ボウリングが初めての人、久しぶりにした人、得意な人、皆でわいわいしながら行いました

【レクリエーション交流会】

平成24年11月14日（水）に西都市ヤングボウルでボウリング大会を開催しました。参加団体は、西都病院、新富町精神障がい者福祉会ふたば会、都農町いちょう会デイケア、川南町精神障害者福祉会、当事者会「太陽の恵」、こころの駅ハッピーパークの6団体で、ボランティアの方々にも御協力いただき総勢92名が互いに交流を図りました。

久しぶりにボウリングをされた方も多くいらっしゃいました。良いスコアが出るとみんなでハイタッチをしたりと笑顔あふれる楽しい時間を過ごしました。



【こころの健康づくり講演会】

※高鍋保健所、西都児湯地域自殺対策推進協議会と共催

日 時：平成25年3月16日（土） 場所：高鍋町美術館

参加人数：160名

講 演「一笑一若～人生は心のあり方ひとつでガラリとかわる～」

講 師 こころ元気配達人 こころ元気研究所 所長 鎌田 敏氏



会場にいる人みんなで実践し、一緒に楽しみながら行いました。心のエネルギーがアップしました。



みんなで楽しい空気を作り出し気分を伝染させることで、全体が明るくて元気な空気になることを体験しました。“話す”ことは“放す”ことであること、人だけでなく自分自身を大事にする事の大切さについてお話しいただきました。

心のコントロールが難しい場合は、身体を動かし心の負担を軽くするということで、手を前後に振ったり、肩に力を入れて一気に力を抜く動作等をみんなで実際にやりながら学びました。

【会報誌 心と心のたよりの発行】

精神保健福祉に関する情報と協議会の活動を紹介した会報誌「心と心のたより」（第14号）を発行しました。

日向入郷地域精神保健福祉協議会

当協議会は、日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村内の28の関係団体と83人の賛助会員により構成され、精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

【こころの健康づくり講演会】

平成24年10月29日、日向保健所で開催しました。

演 題：「ひとりひとりのこころを支える地域
づくりを目指して」

講師：吉原 彩（日向保健所保健師）

参加者：49名

理容組合衛生講習会の中で、ゲートキーパー養成講座を実施しました。自殺の現状と対策からゲートキーパーの必要性や役割について説明をしたあと、ゲートキーパー養成研修用DVD「こころのサインに気づいたら」（内閣府作成）を視聴し、具体的な対応方法を学びました。周囲がそのサインに気づき、声をかけ、まずは話を聴くことが重要であることの理解を深めてもらうことができました。



【さわやか交流会】

平成24年6月29日、サンドーム日向において開催しました。医療機関や市町村のデイケア、作業所などから108名の参加がありました。

老若男女関係なく、全員で楽しむことができる玉入れは8回目の実施となり、混合チーム内で協力しながら、全員が笑顔で楽しむことができました。参加者からは、「頑張って汗をかいた」「楽しかった」などの感想が聞かれました。

【家族会合同研修会】

平成25年3月1日、日向保健所で開催しました。

内 容：(1)レクリエーション（茶会、呈茶指導）
(2)交流会

参加者：20名

平成24年度九州ブロック家族会精神保健福祉推進活動研修会の伝達研修後、裏千家茶道の茶会を行いました。

はじめは、慣れない茶道の茶会ということで多少の緊張感もありましたが、時間が経つにつれ皆さん笑顔になり、お腹もこころも温まりました。

終了後には「久しぶりにみんなに会えて嬉しかった」「家でもお茶をたてて飲んでみたいね」等の声が聞かれ、有意義な時間となりました。交流会では、家族や本人の近況等、おひとりおひとりが思いを語り共有する時間となりました。



延岡地域精神保健福祉協議会

当協議会は、延岡市における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的として、延岡地域スポーツ大会、こころのコンサート、『こころの広場』発行などさまざまな事業を行っています。

【延岡ハートフルスポーツ大会】

日 時：平成24年11月1日（木）

参加者：189名

場 所：延岡勤労者体育センター、妙田緑地

平成24年から名称を「延岡地域障がい者スポーツ大会」から「延岡ハートフルスポーツ大会」に変更し、新たな気持ちでの開催となりました。地域のボランティアの方や九州保健福祉大学の学生にも協力していただき、前回に増して活気のある大会となりました。



【こころのコンサート】

日 時：平成24年12月19日（水）

参加者：約180名

場 所：カルチャープラザのべおか ハーモニーホール

今回で7回目の開催となりました。会場はほぼ満員となり、大人気の行事となっています。今回も歌やダンス、太鼓の演奏などで会場が一体となり、笑顔に包まれたコンサートになりました。

【こころの健康づくり講演会】

日 時：平成25年2月5日（火）

参加者：68名

内 容：講演「災害時のこころのケア」

講師 船橋 英樹 氏

（宮崎大学医学部附属病院 精神科）

災害時に地域の支援者となり得る方を対象に、さまざまな立場・職種の方が参加しました。災害時だけでなく、日頃の支援でも生かせるようなコミュニケーションスキルについても説明がありました。参加者からは、「大変よかった。」との声が聞かれ、大成功の講演会となりました。



【こころの広場】

心の健康づくりと精神障がい者支援、精神保健福祉情報の提供を目的として、年1回発行し、会員、関係機関、当事者及び家族、ボランティア等へ配布しました。

西臼杵地域精神保健福祉協議会

当協議会は、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的として、現在、団体会員（24団体）、個人会員で運営し、啓発活動を中心に事業を進めています。

【ピアサポーター派遣事業】

西臼杵地域における精神障がい者への生活支援を行うことを目的として、ピアサポーター派遣事業を実施しました。ピアサポーター派遣事業では、在宅で暮らす方と入院している方が交流することで、退院後の在宅生活について話を聞き、生活をイメージすることができるよい機会となっています。事業では、参加者が自分の聞きたいことや思いを自由に話すことができるように、参加者を6名程度のグループに分けて話し合いを行いました。



【こころの健康づくり講演会】

平成24年11月11日に自殺対策の一環として開催しました。自分のこころ、家族のこころ、近所の人のこころに目を向けていただきたいことから「身体とこころの痛みにも目を向けてみらんね～精神科医師からのことば～」という演題で、宮崎大学医学部附属病院 助教 船橋英樹先生に講演をお願いしました。



【家族のつどい】

国見ヶ丘病院及び管内三町と合同で、精神障がい者の家族が抱えている気持ちを表現する場や、家族同士の交流を深める場、病気を理解する場をつくることで、家族の精神的な負担を軽減することを目的として開催しました。平成24年度は2回開催し、計17名の家族が参加しました。

精神障がい者支援組織・グループの動き

～九州ブロック家族会研修会宮崎大会へのご協力に感謝いたします～

NPO 法人宮崎県精神福祉連合会
理事長 立本 久子

『神話の里から扉を拓く!』。今年の2月14日～15日にかけ、サンホテルフェニックス国際会議場にて開催されました『平成24年度九州ブロック家族会精神保健福祉活動研修会』は、県外198名、県内228名の合計426名が参加した盛大な大会となりました。基調講演では『心の健康政策構想』の実現に奔走されている「やどかりの里」・増田一世さんが「Nothing without us about us」地域から日本を変えようと題し、「こびない ぶれない あきらめない そして『つないだ手を離さない』と締めくくられた素晴らしいお話をしていただき、満席の会場いっぱいの拍手でした。また、懇親会では各県の活動報告や余興も飛び出し、合間の「ちんどん屋さん」や「ひょっとこ踊り」も花を添え、大きな笑いと拍手の渦でした。

大成功の大会に際し、県内で精神障がいに関心を寄せ支援してくださった皆様方からは、大会参加のみならず、財政面での御支援もいただき誠にありがとうございました。また、県障害福祉課をはじめとした行政の皆様にも様々な下支えを頂きました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

さて昨年7月、癌・心臓病・糖尿病・脳卒中に精神疾患を加えた5代疾患とする国の医療政策が決まりました。私達宮崎県精神福祉連合会と致しましては、今回の大会成功を大きな区切りとして、新しい医療政策の具体化へ向け、家族自らが声を大にして内外に発信していこうと思っております。宮崎県内には精神障がいを持ちながらも閉じこもりきりのままで過ごしている多くの患者と家族がおられます。私達県精連は3年前から県内各地の家族会が中心になってそうした方々と共に家族交流事業を取り組んだり、電話での悩み相談等の活動を行なっております。まだまだその輪は小さいのですが、今回の九州ブロック家族会宮崎大会を機に大きな輪にするべく努力していく所存であります。

皆様方の周りで、精神疾患に悩んでおられる患者、家族の方々がおられますなら是非一声おかけになって、また、私達県精神福祉連合会まで御一報くだされば幸いです。私達は『こびない ぶれない あきらめない そして『つないだ手を離さない』活動を皆様と共に押し進めていきたいと願っております。

宮崎県断酒友の会(アルコール健康障害対策基本法の制定を)

創立50周年全国(沖縄)大会とアルコール基本法
公益社団法人全日本断酒連盟は結成50年を迎えます。

自助組織として、半世紀を継続できたことに誇りと協力いただいた、行政・医療関係各位に感謝いたします。

時代の変化に伴う、高齢化社会が、アルコール問題を多様化しています。安いアルコール飲料(第3ビール類)が高齢者。女性のアルコール依存症を増大させています。

アルコール健康障害対策基本法の制定に向け急がねばなりません。皆様のご賛同をお願いします。

悩んでいませんか？

あなたは、自分の飲酒問題で悩んでいませんか
酒が原因で体調を崩しているのに

断酒は勿論、節酒もできないで焦っていませんか
前夜の記憶がすっば抜け、不安を感じていませんか
友人や職場の上司に注意されていませんか
子供の目を恐れていませんか
離婚話がでたことはありませんか

断酒会とは？

断酒会とは、昭和33年に誕生した酒害者による、酒害者のための自助組織です。誕生5年後の昭和38年には、全日本断酒連盟という全国ネットワークが完成し、現在北は北海道より、南は沖縄県に至るまで47都道府県に約650の断酒会が結成され、多くの会員・家族が酒のない新しい人生を明るく生きています。

私達、社団法人 宮崎県断酒友の会は、地域住民の幸せな家庭づくりのお役に立つように活動していく事を目的に、昭和45年に設立されました。

飲酒運転根絶キャンペーン

11月10日は「断酒の日」

11月10日は「断酒の日」です。昭和38年11月10に断酒会は結成されました。この日を全国的な運動に展開するために昨年より飲酒運転による事故防止と、根絶を願って、全国の断酒会が一斉に街頭ビラ配布を行いました。

断酒会が、なぜ飲酒運転根絶キャンペーンを行うのかそれは・・・常習飲酒者(アルコール依存症者)がいるから飲酒運転があとを絶たない。

飲酒運転根絶はアルコール依存症者の治療と断酒継続のための断酒会への入会キャンペーンでもあります。



自殺予防とアルコール

自殺、うつ病、アルコール依存症が「死のトライアングル」と言われています

自殺予防はアルコール依存症からの回復を目指す自助グループ断酒会の目的でもあります。また、アルコール依存症でなくとも、飲酒は自殺を併発するリスクは高い。

思い切って、最寄りの断酒会を見学してみませんか。あなたと同じ悩みを解決し酒のない楽しいライフスタイルをつくった仲間たちが、あなたを暖かく迎えてくれます

(社)宮崎県断酒友の会事務局 永田真志【電話・FAX】0986-53-1018【携帯】090-3884-7844

全日本断酒連盟ホームページ <http://www.dansyu-renmei.or.jp>

ルピナス倶楽部の動き

会 長 川越 竹光

現代の世の中、少子高齢化社会で人と人とのつながりが薄れて、点と点とてもクールな社会のように思えますが、夫妻でどちらかが倒れて介護して支えあって生きている方、又、精神障害者で高齢の親を介護なされている人など私は知っていますが、口じゃ言えない大変な苦労があるようです。私も50代後半に入り人生を振り返り、これから先のことを考えるようになりましたが、統合失調症の私には、懐中電灯で目の前を照らすようにしか生きてはいけません。今のルピナス倶楽部（宮崎県精神障害者団体連合会）も同じようなもので、ルピナス倶楽部という会名だけが、一人歩きしているかのように思えてならないこの頃です。現在、会員・協力会員も減少の一途をたどって少し寂しい気もしますが、ルピナス倶楽部の実行委員一同めげずに会報「ひまわり」を発刊、発送を通じて県内の当事者、一般市民に精神障害者の今の実情を発信し続けています。

平成24年度のルピナス倶楽部としての動きは、宮崎県内に最近、誕生した延岡市地域活動支援センター「みなと」と児湯郡新富町にある、こころの駅「ハッピーパーク」に交流、学習、親睦を兼ねて見学したところ、どちらの施設も既存の建造物を有効活用していて精神障がい者がつどえる場所として使用されとても良い雰囲気、しかも明るいスペースだった。延岡市地域活動支援センター「みなと」においては、皆様に気軽に集まっていただき、「皆と」すごし、ここで一休みし、また社会に出て行く「港」でありたいというスタッフ一同の心情が印象的に伝わってきました。また、こころの駅「ハッピーパーク」においては、施設長の「みんなはひとりのためにひとりはみんなのために」障がいのある人もない人も共に支えあって生きるという理念をかかげて、熱心に活動されている姿に感動しました。このような活動を通じて点と点をつなぐことが出来るなら大きな力になるのではと思いました。

平成25年度のルピナス倶楽部の動きとしては、活動をしていく上で会員の減少という傾向は、あまり良くはないように思いますので、昨年度の後半頃から宮崎県精神保健福祉センターのスタッフさんと話し合いを続け、今年度は、お茶会を兼ねた座談会を宮崎県精神保健福祉センター内の憩いの部屋で行うことにしましたが、6月20日に開催した1回目のお茶会兼座談会では、宮崎市内の1名の入会者がありました。今年度は何回かお茶会兼座談会を行う予定ですので、チラシを見た方は、ご気軽に足を向けていただくと有り難く思います。いやしの会ですので宜しくお願いします。

最後に継続は力なりという言葉がありますようにルピナス倶楽部も永い目で見ていただいて、今後とも活動を持続し続けて色々とチャレンジしていきたいと思っておりますので、皆さんのあたたかい目で、御協力の程よろしくお願いします。



地域で活動する自助活動グループ等の紹介

こんにちは

地域活動支援センター 和みです♪

和みでは、地域みなさんが「ちょっといっちみろかい。」「何かやっちゃっげな。やっちみろかい。」と気軽に足を運べるような支援センターを目指しております。

サービス提供日は、1月4日から12月29日まで（8時20分～17時）。

サービスの内容としては 写真のような憩いの場の提供と相談支援を行っています。

交流会風景

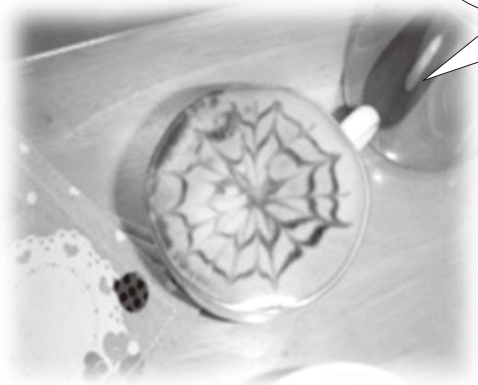


なごみピア♥
NLB（ピア活動）

さまざまな活動に取り組んでいきたいと考えておりますが、今回は、今年度力を入れておりますピア活動について触れてみたいと思います。和みには、ピアカウンセリングのなごみピア♥や当事者研究のNLB（Nagomi life beautiful の略）があります。

簡単に言いますと、ピアとは『仲間』・『対等』ということ。ピアサポートというのは、『共感しあえる仲間で、助け合うこと』です。それらは、自分が抱える宝物（悩み）をみんなに話すことから始まります。その中から自分と同じ、もしくは似た宝物を持つ人が「自分もそうだ。」と頷き、そこから「自分はこういった時にそういう状況になる。」とか「私はその時こういうふうに対処しているよ。」などと仲間全員で分かち合ううちに、ひとりで悩んでいた『悩み』が研究されて、いつの間にか他の仲間たちへの『手引き書』に変わっていくのです。仲間のおかげで自分の体験を肯定的に捉えなおすことができます。まだまだピア活動を始めたばかりですが、ともに成長し、もっと多くの人々に知ってもらえれば、と日々努めております。毎週水曜日に行っています。お気軽にご参加ください。

みんなで楽しく作ってます。
ラテアート♪



—お問い合わせ—

〒887-0034 宮崎県日南市大字風田3861
医療法人同仁会
地域活動支援センター「和み」
TEL/FAX：0987-31-0567

ピアサポーター院内訪問活動を体験して

ピアサポーター さくらの会 会長 初田 憲一

私達は、平成22、23年度に九州保健福祉大の主催によるピアサポーター養成講座を受講しました。そのうち9名の終了生が、平成24年度ピアサポーターとしての実践活動に備えて「さくらの会」を結成し、月1回の勉強会を開始しました。

そして、県北地域移行支援事業の一環として院内訪問活動を実践することになり、県北3精神科病院を4回訪問しました。

訪問にあたり、アイスブレイクや話題をどうするか、どう盛り上げていくか等時間を忘れて話し合い事前準備をしっかりと行いました。

それでも初めての訪問の前にはドキドキと不安で押し潰れそうになりながらも、訪問を終えました。しかし1月から3月までの短期間での訪問でしたので、ホッとする間もなく、アンケート結果や反省点を次の訪問に生かすため事前ミーティングを繰り返しました。やれるのかなと心配だった院内訪問を4回も終えたことは、かけがえのない宝物です。まとめの会では、「充実感があった」「為になった」と口々に自己肯定感に溢れていました。



今回の訪問活動を体験して、重要となる「3つの“わ”」について感じました。

★まず一つ目の「わ」は、「わだい」です。



私達は病院訪問の準備ミーティングで、話題を用意しています。しかし、入院患者様からの思いをピアサポーターが拾いあげることこそ傾聴ではないか？と思います。私達が促すことなく、入院患者様が力むことなく、そこにある話題を語ることができたらいいと思います。

★二番目の「わ」は「わかち合い」です。

患者様が自分のことを、自分の言葉で語り、みんなが試行錯誤しながら、受容、受け入れていくものだと思います。そこには、ピアという対等な視線を忘れず、痛みに寄り添うことが出来れば、ピアサポーター冥利に尽きると思います。

★そして三番目の「わ」は「わらう」です。

気の利いた一言より、ピアの素朴なフォローが自然な笑いの秘訣なのかもしれません。「笑う」ことは共感への近道ではないでしょうか？

まだまだヒヨコな私と私達ピアサポーターの仲間を、陰日向となり応援してくださる地域活動支援センターみなとを始めとする関係機関の皆様、また病院訪問を受け入れてくださる各病院、そして入院患者様に、厚く感謝の意を表したいと思います。

障がい者の就労促進等に取り組む事業所

社会福祉法人 あじさいの里 障がい福祉サービス事業所あじさいの里

就労移行支援事業・就労継続支援B型事業

<沿革>

社会福祉法人あじさいの里は、平成9年4月旧山之口町（現在都城市）に精神障がい者の社会参加を目的に通所授産施設を開所しました。当時精神障がい者の社会復帰施設としては宮崎県内で2箇所目でした。その後、障害者自立支援法が施行され、平成19年10月から3障がいを対象とした就労移行支援事業・就労継続支援B型事業を行っています。

現在は、スタッフ10名で障がいのある方の社会参加と一般就労を支援しています。

<目的>

就労移行支援事業に於いては、本人が持っている働く能力を可能な限り引き出せるように支援を行い、本人の状態にあった適正な職場環境、職種で安定して長く職業生活が送れるよう職場実習等を行い「マッチング」を支援しています。また、就職した後も定期的に職場等を訪問し生活及び就業状況を把握し必要に応じた支援を行っています。

就労継続支援B型では、一般企業での就労が難しい方、もしくは就労支援に相当程度の期間を要する方を対象に社会参加及び一般就労の支援をしています。

<主な活動、支援内容>

○生産活動

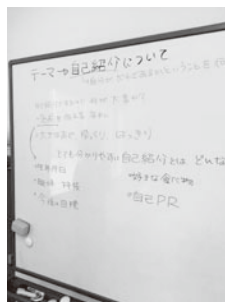
- ・菌床しいたけの生産、販売
- ・ごみ袋、ポリ袋の包装作業
- ・アメリカンフラワー作成、販売

○外部からの受託作業

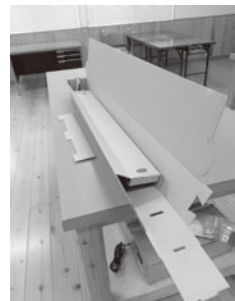
- ・ダンボール箱の組み立て作業
- ・あくまき、こんにゃく作り
- ・地域コンビニチェーンと連携した販売、接客業務

○就労支援

- ・就業生活準備訓練、職場見学、グループ職場体験実習、職場実習での業務遂行訓練など



作業・訓練の様子



<今後の展望>

就労継続支援では、生活の保障として作業工賃の更なる向上に施設全体で取り組んでいきます。また、一般就労を希望される方には職場探しの支援を行います。

就労移行支援では、一般就労支援の実績を積み上げ、そのノウハウを活かし「働く」ということを強力に支援していきます。また、就労の質（就労後の生活、雇用条件等）の改善、向上にも取り組んでいきたいと考えています。

<主な一般就労先と業務内容>

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| ・製造業（作業員、環境整備） | ・精肉店（機械洗浄、カット） |
| ・スーパー（商品作り、商品陳列） | ・ビジネスホテル（会場設営、清掃） |
| ・介護保険事業所（清掃・洗濯） | ・農場関連（野菜、鶏卵の出荷） |
| ・食品関連（野菜、肉のカット、ボトル洗浄）など | |

障がい者の「働きたい！」を全力で応援します！！

就労移行支援事業所「ぐらんま亭」(高鍋町)

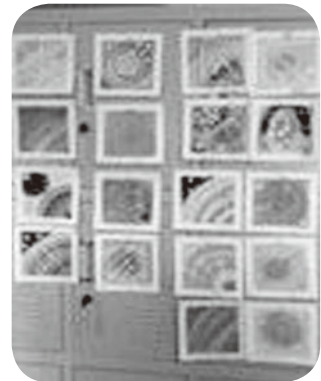
「ぐらんま亭」は平成24年10月に、不動産会社の株式会社アーバンエチュードが、障がい者の自立の基本になる『住まい』と『就労』を車の両輪として支援するという理念のもと、高鍋町に開所しました。



- ◆場所は、JR 高鍋駅北側の8階建てマンション1階
- ◆職員は、施設長1名、就労支援員2名、職業指導員2名、生活支援員1名、調理員2名の8名です。
- ◆開所日は、月曜から金曜日で、土・日、祝・祭日、お盆、年末年始はお休みです。
- ◆開所時間は、午前9時から午後4時までで、送迎も行っています。

◆一般就労のための訓練として

- ① **お弁当の製造・販売** …お弁当の盛りつけ、配達・集金、回収・食器洗いを行います。
- ② **ルームクリーニング、マンション・アパートの管理業務** …チームワークで室内清掃や、共用部分の清掃を行います。
- ③ **介護老人ホーム施設清掃** …清掃と洗濯、ベットメイキングを行います。
- ④ **職場体験** …月1回の頻度で、様々な業種の職場見学と体験実習を行います。
- ⑤ **座学基礎訓練** …ビジネスマナーや面接技術の向上のための講座や、ロールプレイング・グループワークを行います。
- ⑥ **芸術教室** …書道・パステル画・写真の教室を開催し、隠れた感性や才能を発見することに努め、併せて表現力の増進を図ります。また、年に一度展覧会を開催します。
さらに、本年度中に和太鼓クラブや軽音楽バンド活動も行う予定です。



- ◆起業・独立・開店等の支援として、独立心旺盛で各種スキルが非常に高い利用者様には、開業支援や協力者・連携先等のマッチングを行います。なお、その後の支援・相談も継続的にを行います。



特定非営利活動法人 ふれあい キャッチボール

就労継続支援B型事業所

利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう就労の提供を致しております。
バザーへの出店や弁当配達など利用者主体で行い、仕事への意欲を高めて頂いております。



お弁当作り中！！



昔懐かしい外観で居心地の良い作業所です。



日替わり弁当で毎日60食程作っています。
日替わり弁当390円で一つからでも配達しています。



空き缶つぶし作業。
手作りの工具でつぶしています。



オムツ配布事業
介護施設・自宅へオムツを
配達するなど、介護用品業務
にも取り組んでいます。

アットホームな雰囲気のキャッチボールを、ぜひ一度見に来てください。

〒889-0603

宮崎県東臼杵郡門川町加草4丁目163番地

TEL 0982-63-0809

FAX 0982-57-3039

キャッチボール



宮崎県精神保健福祉連絡協議会だより

平成24年度事業実績

1. 会議開催

(1)第1回総会（平成24年5月31日）

- ①役員の改選について
- ②平成23年度事業実績について
- ③平成23年度決算について
- ④平成24年度事業予算（補正）について
- ⑤報告事項
 - ・第60回（平成24年度）精神保健福祉全国大会（宮崎市）の開催について
 - ・第11回（平成24年度）宮崎県障がい者スポーツ大会の開催実績について

(2)第1回理事会・第2回総会（平成24年8月9日）

- ①精神保健福祉功労者に対する「平成23年度宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰」の選考について
- ②神保健福祉みやざき（第52号）の発行について
- ③精神保健福祉大会のあり方について
- ⑤報告事項
 - ・第60回精神保健福祉全国大会の進捗状況について

(3)第3回総会（平成25年3月7日）

- ①役員の改選について
- ②平成25年度事業計画について
- ③平成25年度当初予算について
- ④第53回精神保健福祉大会実行について
- ⑤精神保健福祉連絡協議会表彰規定の一部改正について
- ⑥報告事項
 - ・第60回精神保健福祉全国大会の進捗状況について

2. 大会開催

(1)第11回宮崎県障がい者スポーツ大会

平成24年5月13日（日）宮崎県総合運動公園他で開催

参加者 2,304名（うち選手数 1,673名）

(2)第60回精神保健福祉全国大会（第52回精神保健福祉大会）

平成24年10月26日（火）宮崎市民文化ホールにて開催

参加者 約900名

3. 精神保健福祉功労者表彰

(1)全国大会時表彰状授与 5件（個人4名、1団体）

4. 支援・助成

(1)宮崎県精神福祉連合会

(2)宮崎県断酒友の会

(3)ルピナス倶楽部

5. 普及・啓発

(1)機関誌「精神保健福祉みやざき（第52号）」の発行・配布（1,200部）

(2)啓発誌「心の健康（No.67）」の作成・配布（8,000部）

(3)専用ホームページの運用

(4)検索システム「こころ安心・相談ネット（愛称：みやざきこころ青Tねっと）の運用

・医療機関・相談機関等の追加

・スマートフォン用ホームページ作成

(5)「自殺対策強化月間（3月）」関連キャンペーン活動

・ショッピングセンター等にてパネル展示、チラシ配布

6. その他

(1)九州精神保健福祉協議会理事会（大分市）平成24年11月30日開催

(2)全国精神保健福祉連絡協議会総会（宮崎市）平成24年10月25日開催

平成25年度事業計画

1. 大会開催

- (1)第12回「宮崎県障害者スポーツ大会」

平成25年5月12日（日）開催、宮崎県総合運動公園他（宮崎市）

- (2)第53回「精神保健福祉大会」

平成25年10月22日（火）開催予定、会場：高千穂町武道館

2. 精神保健福祉功労者表彰

（第53回精神保健福祉大会時に表彰状授与予定）

3. 普及啓発事業

- (1)機 関 誌「精神保健福祉みやざき（第53号）」の発行・配布（1,200部）

- (2)啓 発 誌「心の健康（No.68）」の作成・配布（8,000部）

- (3)広報媒体「専用ホームページ（HP）」の運用

ホームページアドレス <http://www.miya-seiren.com>

- (4)「こころ安心・相談ネット（青Tねっと）」の運用

ホームページアドレス <http://www.m-aot.net>

- (5)「自殺予防啓発活動基金」事業

一般県民向けの販売用の啓発グッズを製作する基金事業

- (6)自殺対策強化月間（3月）関連普及啓発

パネル展示、チラシなどの配布

4. 各種団体に対する助成

- (1)精神福祉連合会が実施する啓発活動（講演会等）への助成

- (2)断酒友の会が実施する啓発活動（研修会等）への助成

- (3)ルピナス倶楽部が実施する啓発活動（ルピナスフォーラム等）への助成

5. 総会・理事会の開催

- (1)第1回総会（平成25年5月中旬開催）

事業実績・決算承認、当役員改選等

- (2)第1回理事会（平成25年8月上旬頃開催予定）

表彰者決定、機関誌発行、事業進捗報告など

- (3)第2回総会（平成25年3月上旬頃開催予定）

当初予算・事業計画決定、事業日程・新規案件協議など

6. その他（関係団体）

- (1)全国精神保健福祉連絡協議会総会（平成25年10月開催予定）

- (2)九州精神保健福祉協議会理事会（平成25年11月開催予定）

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 役員名簿

平成25年 8 月 5 日現在

役 名	氏 名	役 職 名
会 長	高 宮 眞 樹	宮崎県精神科病院協会 会長
副 会 長	三 山 吉 夫	宮崎大学 名誉教授
常 務 理 事	河 野 次 郎	宮崎県精神保健福祉センター 所長
理 事	後 藤 勇	宮崎地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	谷 口 浩	日南申間地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	河 野 一 成	都城北諸地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	内 村 大 介	西諸地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	中 林 永 一	西都児湯地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	田 中 洋	日向入郷地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	吉 田 建 世	延岡地域精神保健福祉協議会 代表 宮崎県精神科医会 会長
理 事	植 松 昌 俊	西臼杵地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	石 田 康	宮崎大学医学部精神医学講座 教授
理 事	古 郷 博	宮崎県精神科診療所協会 副会長
理 事	原 田 幸 二	宮崎県福祉保健部福祉保健課長
理 事	古 川 壽 彦	宮崎県福祉保健部障害福祉課長
理 事	立 本 久 子	宮崎県精神福祉連合会 理事長
理 事	米 崎 邦 雄	宮崎県断酒友の会 理事長
理 事	矢 野 光 孝	宮崎県障害者社会参加推進協議会 会長
監 事	藤 崎 淳一郎	宮崎県保健所長会 会長
監 事	高 橋 博	宮崎県社会福祉協議会 副会長

●役 員 数：理事18名（会長 1 名、副会長 1 名、常務理事 1 名を含む）、監事 2 名

●役員任期：平成25年 4 月 1 日～平成27年 3 月31日

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会員名簿

正会員

平成25年8月現在

組織・団体名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX 番号	ホームページ
宮崎地域精神保健福祉協議会	880-0032	宮崎市霧島1-1-2 中央保健所内	0985-28-2111	0985-23-9613	
日南串間地域精神保健福祉協議会	889-2536	日南市吾西1-5-10 日南保健所内	0987-23-3141	0987-23-3014	
都城北諸地域精神保健福祉協議会	885-0012	都城市上川東3-14-3 都城保健所内	0986-23-4504	0986-23-0551	
西諸地域精神保健福祉協議会	886-0003	小林市大字堤3020-13 小林保健所内	0984-23-3118	0984-23-3119	
西都児湯地域精神保健福祉協議会	884-0004	児湯郡高鍋町大字蚊口浦5120-1 高鍋保健所内	0983-22-1330	0983-23-5139	
日向入郷地域精神保健福祉協議会	883-0041	日向市北町2-16 日向保健所内	0982-52-5101	0982-52-5104	
延岡地域精神保健福祉協議会	882-0803	延岡市大貫町1-2840 延岡保健所内	0982-33-5373	0982-33-5375	
西臼杵地域精神保健福祉協議会	882-1101	西臼杵郡高千穂町大字三井1086-1 高千穂保健所内	0982-72-2168	0982-72-4786	
社団法人 宮崎県精神科病院協会	880-0013	宮崎市松橋1-1-32 コーポはまゆう7F	0985-60-2671	0985-60-2672	
一般社団法人 宮崎県精神科診療所協会	880-0905	宮崎市中西3-2-33 ごうメンタルクリニック内	0985-55-1777	0985-55-1789	
宮崎大学医学部精神医学教室	889-1692	宮崎郡清武町木原5200	0985-85-2969	0985-85-5475	http://www.med.miyazaki-u.ac.jp
社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会	880-8515	宮崎市原町2-22 県福祉総合センター内	0985-22-3145	0985-27-9003	http://www.mkensha.or.jp
宮崎県精神科医会	889-0511	延岡市松原町4-8850 吉田病院内	0982-37-0126	0982-37-0233	
特定非営利活動法人 宮崎県精神福祉連合会	880-0873	宮崎市堀川町165番地 立本久子様方	0985-29-6816	0985-29-6816	http://www5.ocn.ne.jp/~mkaren
社団法人 宮崎県断酒友の会	880-0913	宮崎市恒久6丁目9-11	0985-53-6030	0985-53-6030	
宮崎県障害者社会参加推進協議会	880-8515	宮崎市原町2-22 県福祉総合センター内	0985-26-2950	0985-26-2950	
宮崎県保健所長会	880-0032	宮崎市霧島1-1-2 中央保健所内	0985-28-2111	0985-23-9613	
宮崎県福祉保健課	880-8501	宮崎市橋通東2-10-1	0985-26-7074	0985-26-7326	http://www.pref.miyazaki.lg.jp
宮崎県障害福祉課	880-8501	宮崎市橋通東2-10-1	0985-32-4471	0985-26-7340	http://www.pref.miyazaki.lg.jp
宮崎県精神保健福祉センター	880-0032	宮崎市霧島1-1-2	0985-27-5663	0985-27-5276	http://www.pref.miyazaki.lg.jp
宮崎大学名誉教授	889-1911	北諸県郡三股町大字長田1270 老年期精神疾患センター内	0986-52-5800	0986-52-5573	

賛助会員

病院・診療所名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX 番号	ホームページ
宮崎大学医学部附属病院精神科	889-1692	宮崎郡清武町木原5200	0985-85-2969	0985-85-5475	http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/hospital
医療法人清芳会 井上病院	880-0123	宮崎市大字芳士80	0985-39-5396	0985-39-2410	http://www.inoue-hp.net
社会医療法人同人心会 古賀総合病院	880-0041	宮崎市池内町数太木1749-1	0985-39-8988	0985-39-0067	http://www.kgh.or.jp
医療法人真愛会 高宮病院	880-0841	宮崎市吉村町大町甲1931	0985-24-5678	0985-22-1571	http://www.takamiya.or.jp
一般財団法人弘潤会 野崎病院	880-0916	宮崎市大字恒久5567	0985-51-3111	0985-51-3114	http://www.koujinkai.jp
医療法人慈光会 宮崎若久病院	880-0945	宮崎市福島町寺山3147	0985-51-1548	0985-52-7394	http://www.miyazaki-wakahisa.com/
医療法人如月会 若草病院	880-0804	宮崎市宮田町7-37	0985-28-2801	0985-20-0819	http://www.miyazaki-wakakusa.or.jp
一般社団法人藤元メディカルシステム 大悟病院	889-1911	北諸県郡三股町大字長田1270	0986-52-5800	0986-52-5573	http://www.fujimoto.or.jp
医療法人恵心会 永田病院	885-0084	都城市五十町5173	0986-23-2863	0986-23-2238	
一般社団法人藤元メディカルシステム 藤元病院	885-0055	都城市早鈴町17-4	0986-25-1315	0986-25-2473	http://www.fujimoto.or.jp

医療法人一誠会 都城新生病院	885-0093	都城市志比田町3782	0986-22-0280	0986-25-1958	http://www.shinsei-hp.jp
医療法人隆誠会 延岡保養園	882-0863	延岡市緑ヶ丘5-14-30	0982-33-6396	0982-35-3370	http://www.nyuseikai.com
医療法人建悠会 吉田病院	889-0511	延岡市松原町4-8850	0982-37-0126	0982-37-0233	http://www.yoshidahospital.or.jp
医療法人同仁会 谷口病院	887-0034	日南市大字風田3861	0987-23-1331	0987-23-7739	http://www.taniguchi-hospital.jp
特定医療法人浩然会 内村病院	886-0002	小林市水流迫852番地1	0984-23-2575	0984-22-6442	http://www.uchimura-hospital.jp/
医療法人信和会 小林保養院	886-0003	小林市大字埴2939	0984-22-2836	0984-22-5341	
医療法人和敬会 国見ヶ丘病院	882-1102	西臼杵郡高千穂町大字押方1130	0982-72-3151	0982-72-3153	http://www.kunimigaoka.or.jp
医療法人十善会 県南病院	888-0001	串間市大字西方3728	0987-72-0224	0987-72-5967	http://www.kennan-hospital.or.jp
医療法人向洋会 協和病院	883-0021	日向市大字財光寺1194-3	0982-54-2806	0982-54-3319	http://www.kyowahospital.jp/
医療法人望洋会 鯨島病院	883-0033	日向市大字塩見14168	0982-54-6801	0982-53-7313	http://www.sameshima-hp.jp
医療法人社団慶城会 瀧井病院	883-0033	日向市大字塩見11652	0982-52-2409	0982-52-2403	http://keijoukai.pr.miten.jp/modules/myalbum1/
特定医療法人浩洋会 田中病院	889-0623	東臼杵郡門川町宮ヶ原4-80	0982-63-2211	0982-63-2211	http://www.h7.dion.ne.jp/~tanaka_h
医療法人恵喜会 西都病院	881-0023	西都市大字調殿1010	0983-43-0143	0983-43-3625	http://saito-hospital.jp
医療法人りっか会 ビア・メンタルささき病院	880-0211	宮崎市佐土原町下田島21230	0985-73-1811	0985-72-0640	http://www.peer-ricka.jp
医療法人あいクリニック	880-0879	宮崎市宮崎駅東1-6-7	0985-25-0085	0985-25-5882	http://www.ai-clinic.pro
医療法人社団静心会 近間クリニック	880-0031	宮崎市船塚1-2	0985-24-6662	0985-24-7008	
医療法人社団凌雲会 福永内科神経科医院	889-1607	宮崎郡清武町大字加納1-29-2	0985-85-6006	0985-85-6006	
医療法人芳明会 早稲田内科神経科医院	880-0933	宮崎市大坪町西六月2197-1	0985-53-3030	0985-54-5151	http://www.houmei.or.jp
野田クリニック	882-0052	延岡市萩町52	0982-35-7789	0982-34-0085	
こごうメンタルクリニック	880-0905	宮崎市中村西3-2-33	0985-55-1777	0985-55-1789	http://www.miyazaki-catv.ne.jp/~kogomentalclinic/
北野メンタルクリニック	880-0824	宮崎市大島町南窪814-4マルコービル105	0985-22-7588	0985-22-7587	
向陽の里診療所	880-1101	英諸県郡国富町大字本庄1407	0985-75-7752	0985-75-2979	
医療法人ハートピア 細見クリニック	880-0001	宮崎市橋通西1-5-3	0985-35-1100	0985-38-1711	http://www9.ocn.ne.jp/~hosomicl/index.htm
サザンクリニック	880-0912	宮崎市大字赤江830-1	0985-50-5771	0985-50-5663	
みずのメンタルクリニック	883-0041	日向市北町1-2	0982-50-0855	0982-50-0855	http://www.mizuno-mental.com
医療法人聖心会 中村クリニック	880-0806	宮崎市広島1丁目17-21 ポレスターアーバンシティ広島1 F	0985-32-7830	0985-32-7831	http://www.nakamura-cl.com/

精神保健福祉みやざき（第53号）

平成25年10月発行

編集発行 **宮崎県精神保健福祉連絡協議会**

〒880-0032 宮崎市霧島1-1-2

TEL 0985-27-5663

FAX 0985-27-5276

印刷製本 有限会社 K・I印刷

〒880-0056 宮崎市神宮東3-6-19

TEL 0985-65-4024

編集委員会 委員名簿

中央保健所健康づくり課	技 師	木佐貫 葉々子
日南保健所健康づくり課	技 師	興那嶺 祐 樹
都城保健所健康づくり課	技 師	吉牟田 美由紀
小林保健所健康づくり課	主任保健師	川 野 清 子
高鍋保健所健康づくり課	技 師	松 田 有 加
日向保健所健康づくり課	技 師	小 園 郁 美
延岡保健所健康づくり課	技 師	工 藤 晴 香
高千穂保健所健康づくり課	技 師	今 西 七 生
精神保健福祉センター	副 所 長	日 高 真 二
	主 任	杉 田 周士郎
	主 査	永 田 奈津子

精神保健福祉

みやざき



この広報紙は赤い羽根募金の配分を受けて発行しています。

宮崎県精神保健福祉連絡協議会

再生紙を使用しています